

2023年度 JICA 国際研修「健康危機に対応する結核対策—革新的技術を用いた保健システム構築—」コースに参加して

瀋陽市第十人民医院

瀋陽市胸科医院 韩嘉宏 (Han Jiahong)

このコースに参加する機会があったことを光栄に思います、とても楽しい旅でした。

飛行機を降りた瞬間からすべてがきちんと整えられており、コースプランも事前に知らされていたので、十分に準備する時間を与えてくれました。

授業内容は結核に関するものばかりで、WHOの報告書の分析、感染症の基礎知識、統計手法など、先生の説明はとても丁寧で時間を十分にとってくださいました。私は元々数学が苦手なのですが、今では統計解析に非常に興味を持てるようになりましたし、他の参加者も休憩時間を忘れるほどでした。

結核研究所の山田先生はまさしく学者です。疫学や統計の専門家であり、講義の内容も素晴らしいものでした。私たちの理解の進み具合に気を配ってくださり、わからないことがあれば、全員が理解できるまで何度も説明して下さいます。

ここはとても良い人たちばかりで、特にJICA研修監理員の宝井さん、結核研究所の小柴さんやケイ・マーさんにはとても優しくしていただきました。宝井さんは私たちを子供のように面倒を見てくれて、バスや地下鉄の乗り方を教えてくれて、手書きの地図を用意してくれることもありました。みんなが大好きな日本のスナックを分けてくれることもありました。特に思い出に残っているのは、宝井さんと小柴さんが私の誕生日のお祝いにケーキを買ってくれたことで、外国に独りであることを忘れさせてくれました。ケイ・マーさんは私たちの友人同様に、日本に住んでいる経験をよく共有し、私たちと一緒に勉強し、空いた時間にはソフトウェアのスキルを教えてくださいました。

講義をしていただいた先生方は、多くの国々で結核に関する研究をされており、その経験や成果を共有して下さいましたので、私たちの視野が広がり、今後の勉強や研究にとっても役立つことと思います。

研修では、Missing Cases（診断または報告されな

い結核患者）、結核検査、治療の影響要因などの問題について話し合っ、アイデアや解決策を提案することがよくあります。私はこのセッションがとても気に入っています。議論を通じて各国の結核政策や国情をより深く理解し、問題をさらに分析することができるからです。

また、光栄にも結核予防会総裁秋篠宮皇嗣妃殿下にお会いすることができました。とても優しく気品のある方で、日本での生活や研修旅行先、また各国の結核の負担についてどのように理解しているかを質問されるなど、親切に話しかけてくださいました。本当にたいへん素晴らしい方でした。

また、山谷の寄せ場と城北勤労福祉センターを訪問し、この地域の歴史や現状の問題点とその解決策、DOTSプログラムの実施状況などを職員の方に丁寧に説明していただき、多くの知識を得ることができました。

コースの後半では、自分たちでプロジェクトをデザインし、それについてプレゼンテーションをし、先生や他の参加者から意見をもらう機会がありました。たいへん有意義で、私たちは飛躍的に成長したように感じました。

全員が最終試験に合格し、私たちの学習成果の確認できたことをとても嬉しく思います。

全体として、このコースは非常に充実しており、遠く外国まで学びに来る価値があります。この貴重な学びの機会を提供してくれたJATAに非常に感謝しております。このコースに参加して、中国の政策と結核プログラムに多くの欠点があることを痛感いたしました。結核の予防と管理には多くの取り組みが必要です。私たちの不断の努力により、結核は最終的に撲滅されると信じています。(日本語訳:結核研究所国際研修科)

